

令和5年度 鳴門教育大学・四国大学「小学校英語の専門人材育成プログラム」成果報告

1. 実施状況

令和2年度より、小学校では新しい学習指導要領のもと、外国語活動が3・4年次から開始され、教科としての外国語が5・6年次に導入されました。このような背景のもと、小学校教員(小学校教諭普通免許状を有する者)が、2年間(最長4年間)で、中学校教諭二種免許状(外国語(英語))を取得するための必要単位(14 単位)の修得を可能とするための講習プログラムの企画・運営を令和4年度に開始し、その2年目として令和5年度も引き続き行いました。

このプログラムでは、「英語文学」「英語学」「異文化理解」「英語コミュニケーション」「英語科の指導法に関する科目」等に係る講習を提供しますが、対象者が小学校の外国語教育に携わる者が中心であることを考慮し、中学校教諭二種免許状(外国語(英語))の取得に求められる専門性を維持しつつ、小学校外国語教育の指導に求められるものとして、講習内容が再構成されています。また、本プログラムの活用と効果の実質化を図るべく、徳島県教育委員会と連携し、これまでも小学校外国語教育の指導者養成を行ってきた鳴門教育大学と四国大学がそれぞれの強みを相互提供するかたちで講習が行われています。両大学が連携することで、オンラインによる授業実施を軸に、平日の夜間授業形式と週末の集中講義形式という異なる講習の提供ができ、受講者にとっては、生活様式に応じた受講が可能となっています。

本プログラムの2年目については、受講者の実人数は 32 名(各講習 19 名から 21 名が受講し、3講習で延べ 61 名)、1年目から引き続きの受講者は 13 名、新規の受講者は 19 名でした。受講者の内、他府県からの参加者が 29 名あったことも、オンライン形式による講習の実施がもたらした効果であると考えます。

2. 受講者による評価

すべての講習において、5肢選択方法と自由記述によるアンケートを実施しました。その結果を分析すると、すべての講習において、全般的に高い数値(満点の5ポイント中、すべての講習の総合評価が 4.5 ポイント以上)を得ることができ、本講習は好評であったと判断できます。また、アンケートの自由記述から一部を紹介します。

- ・小学校外国語教育を行うにあたって役立つ内容を、英語学・英語文学・比較文化の視点から学ぶことができ有意義であった。
- ・小学校外国語の指導に役立つという実用的な側面だけではなく、専門分野の知見を得て、受講生自身の世界や視野が広がった。
- ・他府県の教員と交流する機会をもてたことがよかった。
- ・参加型のスタイルが楽しかった。
- ・発表や意見交換などを通して多様な意見が聞け、勉強になった。
- ・情報に富んだ資料の提供が助かった。
- ・動画の使用や教材が分かりやすく工夫されていてよかった。



以上の結果は、受講生のニーズや興味関心を理解する講師が、自身の専門分野の知見と指導経験をふまえながら、受講生を講習の主体としつつ、受講生の学びの充実のために、丁寧に対応していたことによるものと考えます。

しかしながら、反対に課題も見えてきました。受講者から、日々の学校業務があるなかで宿題をこなすことの難しさや、オンライン講習への接続等に関わる情報の提示に関する問題への指摘がありました。アンケートを参考に令和6年度の講習実施に向け、必要な調整や改善を行いたいと考えています。また、理由によらず遅刻・早退・欠席等を認めない単位認定の制度に関わる指摘がアンケートの自由記述に多く見られました。受講者は学校教員であり、講義が行われる夜間や休日においても、緊急に対応せざるを得ない事情が生じることがあり、遅刻・早退・欠席などについて代替措置による柔軟な対応を求めるものであると考えます。この点については、令和6年度より免許法認定講習としての制度を適用することにより、合格に必要な時数(4/5以上の出席)を定めることで緩和されることとなりました。

3. 最後に

令和4年度に4年間の計画で開始した本プログラムも半分が終了し、協議を重ねた結果、令和8年度以降は開講しないことが決定しました。本プログラムは令和7年度開講分をもって終了となりますが、今後もオンライン講習の利点を最大限に活用し、本プログラムの更なる充実を図りたいと考えています。

<実受講者32名の内訳>

(校種別)

小学校教員28名、特別支援学校教員2名、未回答2名

(所在地別)

千葉県2名、東京都3名、埼玉県2名、神奈川県1名、福島県1名、新潟県1名、岐阜県1名、静岡県2名、愛知県1名、三重県1名、京都府1名、大阪府5名、山口県1名、徳島県3名、香川県1名、高知県2名、福岡県2名、長崎県1名、鹿児島県1名

鳴門教育大学マスコットキャラクター

「なる★ワン」

